

令和3年度 新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐために（3学期 2/1～）

矢上高校 保健部

学校は、多くの生徒や教職員が、日常的に長時間、場所と行動をともにします。そのことにより、集団感染を起こしやすいため、感染症の発生・拡大に十分備えることが重要です。国内だけでなく、島根県も新型コロナウイルスの感染急拡大により、「まん延防止等重点措置」の適応となりました。（1月27日～2月20日まで）

国内外の感染状況を見据えると、引き続き長期的な対応が見込まれる状況です。学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校生活を継続していく必要があります。授業や部活動を継続できるように、一人一人が感染症予防の意識を高めていくことが重要です。1月以降、**全国的に感染が急拡大（新たな変異株『オミクロン株』の感染者数増加・デルタ株からの置き換わりが進んでいる）**しており、**家庭内感染（大人→子ども）の増加、学校での感染拡大が続いている**。そのため、本県でも感染急拡大地域への休校措置（1月22日～1月31日）がとられました。休校開けの2月1日からは、特に感染症対策の徹底が必要です。国・県教委の方針や、学校内科医三上先生に指導・助言いただいた内容を以下にまとめました。『自分が感染しない』だけでなく『自分が周囲に感染させない』ため、確実・丁寧に感染症予防に努めましょう。

＜新型コロナウイルス感染症の最新情報＞

- デルタ株から、新たな変異株（オミクロン株）への急激な置き換わりが進んでいることが感染急拡大を引き起こし、家庭内感染（大人→子ども）が広がっている
- ※寄宿舎及び学校生活での、健康観察・標準的感染症予防対策の徹底が必要

オミクロン株について (厚生労働省より)

- (1) 感染性（従来株比）について、高い可能性がある
- (2) 重篤度（従来株比）について、十分な疫学情報がなく不明である
- (3) 再感染やワクチン効果（従来株比）について、再感染リスク増加の可能性があり、また、ワクチンの効果を弱める可能性がある



＜学校での対応＞

県の対応「レベル2」（警戒を強化すべきレベル）に相当する感染症状況になったことを受け、レベル2に対応したガイドライン内容（一部変更・追加）に基づき感染症対策を徹底します。基本的な感染症予防策は、オミクロン株であっても従来同様以下のとおりです。

- ① 「3密」の回避…**換気の徹底**：2方向の対角の窓を開け、常時換気する
※CO₂濃度 1000ppm以下が望ましい、1500ppm↑は換気が必要
- ② マスクの着用…**不織布マスクの着用**
食事：前向き、黙って食べる、食器の共用や回し飲みはしない
- ③ 人と人との距離の確保…できるだけ 2m（最低 1m）の距離をあける、席は対面で座らない
- ④ 手洗いなどの手指衛生…**基本手洗い**：泡立てた石鹼+流水 20秒。
手指消毒：乾燥した手に使用

「できること（マスク・換気・手洗い・距離の確保）を精一杯、丁寧に確実に！！
このことが感染症拡大リスクを減らしていきます。矢上高校全体で、
一人一人が意識を高めて取り組みましょう！（三上学校内科医）」



＜新型コロナウイルス(オミクロン株)感染症予防のポイント＞

①全校マスク着用(教職員・生徒):寮生は寮生活もマスク着用で過ごす ◎ **不織布マスク**

②換気の徹底…可能な限り常時、廊下側と窓側を対角に開けて行う (目安として10cm~20cm)

飛沫感染防止: 5分間の会話で1回の咳と同程度の飛沫、またエアロゾルの吸入を抑止

接触感染防止: 自分の目・鼻・口を触ることの抑止

③健康観察の徹底(登校前の検温)、発熱及び風症状等の体調不良者(生徒・教職員)は登校しないこと

④手洗いなどの手指衛生…手洗いの徹底: 泡立てた石けんを使って20秒以上丁寧に洗うこと

⑤教室清掃の徹底… **日常的な清掃(拭き掃除)を丁寧に行うこと + アルコール消毒をすること**

新型コロナウイルス感染症の接触感染による予防効果を高める

1) 感染源を絶つこと ・・・ 学校に来ている生徒は元気であることが大前提

◎ 体調不良者等は登校しない…以下の内容に当てはまる者は、自宅での休養を徹底すること

① 登校前の検温時: 熱($T=37.0^{\circ}\text{C}$ 以上)がある者 ※平熱より 1°C 以上高い体温

② 普段と違い明らかに体調が悪い者

③ 同居家族に①②の症状がみられる場合

【風邪症状】頭痛、喉の痛み・鼻水・咳症状、味覚異常、嗅覚異常、体のだるさなど

※ 新型コロナウイルスに関連する生徒の欠席(発熱及び風邪症状)は、**出席停止**として扱う
症状がなくなるまでは自宅で休養し、早めに医療受診の上、結果を学校まで連絡すること

※ 医療受診の際には、事前に病院に電話して様子を伝えてから受診すること
⇒ 医療機関の指示または無料のPCR検査や抗原抗体検査等を行った場合や、保健所の
「健康相談センター」に電話相談した場合は、学校まで連絡すること **【※検査する前にTEL】**

＜朝の健康観察の徹底＞

家庭 : **登校前** 検温及び生徒・同居家族の体調を確認 ⇒ **オンライン入力**

体調不良、発熱及び風邪症状のある生徒(同居家族も含め)は登校しないこと

寮 : **毎朝・夕**、検温及び風邪症状の確認

※寄宿舎生…複数人の体調不良者がいる場合は、寄宿舎内で休養すること

※ 詳しい方法については、舍務部資料を参照

学校 : 教員による朝礼時の健康観察の徹底 ⇒ **オンライン入力状況の確認・未入力者へ指示**

体調不良者は学校に留まらず安全な方法で早退し、医療受診すること

普段の体調に戻るまでは、自宅で休養すること

⇒新型コロナウイルス感染症対策: 保健室での対応は最小限とし、発熱者は別室

(第2保健室)にて隔離対応する … 保健室内でのクラスター発生防止のため

2) 感染経路を絶つこと ・・・ **飛沫感染(エアロゾル感染)・接触感染** の防止

①手洗いの徹底 … 泡立てた石けんを使って20秒以上丁寧に洗うこと

手洗いのタイミング

・外から教室に入るとき・トイレの後・昼食の前後

・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき

・掃除の後・共有の物を触ったとき



☆ 登校時や近くに手洗い場がない場合は、乾燥した手に手指消毒剤を丁寧に擦り込むこと

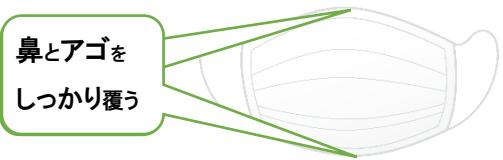
②マスク着用の徹底 … **基本**:全校マスク着用(教職員・生徒) **○ 不織布マスク**

☆マスクの効果☆

不織布マスク > 布マスク > ウレタンマスク

☆マスクを丁寧に着用することで最大の効果を発揮する

ノーズワイヤーを鼻にフィットさせてから、顎までしっかりと覆う



- ・目、鼻、口、髪に手を持って行かない … 粘膜からのウイルス感染を避ける
- ・咳エチケット … くしゃみ・咳が出る時は、顔をそむけてマスク内または腕の内側にすること
くしゃみ後のマスクは内側に畳んで袋に入れて捨て、新しいマスクに交換すること
- ・近距離での会話 … 近距離・マスクなしで一斉に大声を出したり、大声で歌わないこと

③換気の徹底 … **常時**:対角にできれば上下で窓を開ける(教室、特別教室、職員室など)

1時間に1回休憩時間毎に5~10分間、窓・入り口の全開放

※ 授業担当者:終了時に窓、ドアをあけ、次の授業担当者が閉める

※ エアコン使用時も2か所窓を開放して授業をする

④清掃の徹底 … 清掃時には窓を開け、換気を十分に行うこと

実施者 担任または担任が指示した生徒

方 法 ①大勢がよく手を触れる箇所(戸の取っ手、電灯のスイッチ、窓の鍵部分、教卓・生徒机)を水拭きする

②乾燥後、アルコール消毒液をスプレーしたクロスで消毒する

3)抵抗力を高めること

- ・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がける
- ・ストレスコントロールを心がける … ため込まない(相談できる人に早めに相談する)
※ スクールカウンセラー(富士盛先生) … 1回程度/月 来校予定 ※現在、オンライン対応
※ HOT SPACE(相談担当教員:2名) … 1回/月 来校予定

相談希望者は保健室 石川 まで、申し出ること

<集団感染のリスクへの対応> ※学習場面での注意点※

以下の3つの条件(3つの密)が同時に重なる場を徹底的に避けること(新型コロナウイルス感染症対策…国・県の基本方針)

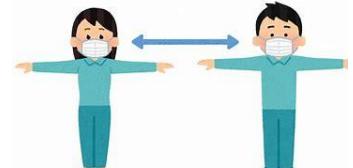
1) 换気の悪い密閉空間にしない

- ・換気の悪い場所や集会はなるべく避ける
- ・更衣室や部室は、換気をしながら時間差で使用する



2) 多くの人が手の届く距離に集まらない

- ・人と人の距離をとること … できるだけ 2m(最低1m)
- ・集団・近距離での活動は十分に配慮する
例)ペアワーク、グループワーク等の感染リスクの高い学習活動は慎重に検討し実施する



3) 近距離での会話や大声での発声をともなう活動をしない

- ・教室での授業の配慮 … 用具の共有は**原則禁止**
⇒用具の共用が必要な場合は、使用前後に手洗い又はアルコール手指消毒すること

新型コロナウイルス感染症対策にかかる学校生活上の対応

